

肝胆膵外科

困難な疾患であっても患者さんに寄り添って
親身に治療方法を検討します。



専用
ホームページ
QRコード



診療科
ホームページ
二次元コード



得意とする疾患と担当医師

外来日(初診)	月	火	水	木	金
午前	○	○	○		○
午後	○		○		○

- 原発性肝癌、転移性肝癌／開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術、TACE、化学療法
- 膵臓癌、膵嚢胞性疾患(IPMNなど)／開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術、化学療法、放射線療法、緩和療法
- 膵神経内分泌腫瘍(P-NET)、神経内分泌腫瘍遠隔転移／開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術、化学療法、肝動脈化学塞栓療法(TACE)、ペプチド受容体放射性核種療法(PRRT)、緩和療法
- 胆道癌、胆嚢癌、肝門部領域胆管癌／手術、化学療法、緩和療法
- 肝胆膵領域の良性疾患／診断、手術、適切な経過観察等

担当医師 / 上記共通：下記いずれの医師も最善をつくします。

伴 大輔(教授)、赤星 啓一(講師)、勝田 絵里子(講師)、上田 浩樹(助教)、石川 喜也(助教)、渡邊 秀一(助教)、浅野 大輔(助教)



特色・診療内容

肝胆膵領域の手術のハイボリュームセンターです。特に腹腔鏡・ロボット手術分野が強みであり、他施設から多くの見学者が訪れたり、腹腔鏡手術に関する国際学会を主催したりしております。肝癌では集学的肝癌治療の推進に取り組み、腫瘍学的切除可能性分類の提唱を主導して、薬物療法と手術やTACEを効果的に組み合わせた肝癌治療を行っています。

膵臓癌は切除可能症例に対する手術から進行癌に対する集学的治療まで対応しています。膵癌は進行が早い疾患であり、手術までの待機期間が問題になります。当科では膵癌専門外来を設立し、術前に必要となる検査を迅速かつ短期間で行う取り組みをしております。また、以前より術前化学療法に注力しており、術前治療を含め、患者さんに適した治療を行っています。

膵嚢胞性疾患(IPMNなど)は計600名以上の患者さんを診察しており、他院で治療方法が判断困難と言われた症例にも対応しています。

消化器内科、がんゲノム診療科、臨床腫瘍科、放射線科、緩和ケアなど他科との連携を高めており、肝胆膵疾患全ての窓口となって対応することができます。



専門外来

●神経内分泌腫瘍専門外来

国内では数少ない専門外来を有しており、他院で治療困難と言われた方でも対応しております。

●膵癌専門外来

膵がん治療 Speed Up Projectを掲げて膵がんの疑いのある方の検査・治療を可能な限り迅速に行えるように体制を構築しています。

【外来】初診事前予約受付(地域連携室)

TEL 03-5803-4655 (平日8:30~17:00)

【入院】転院依頼(入院支援室)

TEL 03-5803-4506 (平日8:30~17:00)

※詳細はP.6をご覧ください。

※詳細はP.7をご覧ください。